


テンプレート

属性設定とメタデータのテンプレートを提供しています。下記をクリックして必要なテンプレートをダウンロードしてご利用ください。ご利用方法は、上記のIdP,SP構築方法をご参照ください。メタデータに関しては、学認申請システムにて自動生成されますので、本テンプレートは補助的な目的でご利用ください。

- 属性設定テンプレート (IdP用)
利用方法はIdP設定の [attribute-resolver.xml](#) / [attribute-filter.xml](#) をご参照ください。
 - [attribute-resolver.xml](#) (共通)
 - [attribute-filter.xml](#) (運用フェデレーション用)
 - [attribute-filter.xml](#) (テストフェデレーション用)

更新情報2019年7月18日(3.4.0)

 今回からeduPersonTargetedID(ComputedId,StoredId)のエンコード方法がプロパティ idp.persistentId.encoding の値を反映するようになっていきます。以前のバージョンから引き続き本バージョンおよびそれ以降をお使いになる場合は、現在使っているエンコード方法を調査し、saml-nameid.properties に記載の値と差異がある場合は当該ファイルを修正の上本バージョンを適用してください。

調査の例:

使用している attribute-resolver.xml のComputedId/StoredId DataConnectorに

- encodingが設定されていなければBASE64、
- 固定値 (BASE64もしくはBASE32) が設定されていればその値、
- すでに上記プロパティを参照しているなら修正の必要なし。

Shibboleth IdP 3.4.x向けテンプレート - 3.4の配布物をベースとして再作成しました。

Shibboleth IdP 4.0で廃止予定の設定を代替の方法に修正、もしくは削除しました。

詳細: <https://wiki.shibboleth.net/confluence/display/IDP30/DeprecatedIdPV4>

更新情報2018年8月23日(3.3.0)

Shibboleth IdP 3.3.x向けテンプレート - attribute-resolver.xmlにおいても名前空間を省いたフラット化を行いました。

学認技術運用基準(v2.2)に新たに追加された属性 eduPersonAssurance, eduPersonUniqueid, eduPersonOrcid の設定例を追加しました。

デフォルトの名前空間の宣言が3系になって抜けていたので足しました。<resolver:AttributeDefinition>のような書き方に加えて名前空間を省略した形 (<AttributeDefinition>等) でも記述できます。

従来コメントアウトされていた LDAP Connector を有効化しました。

Shibboleth IdP 3.2.0向けテンプレート

※[[upki-fed:01034](#)]のReturnAttributesの件ですが、本テンプレートではデフォルトで記述されておりません。つまりIdp.propertiesの記述によらず全てのLDAP属性を取得します。Idp.propertiesのidp.attribute_resolver.LDAP.returnAttributesの設定を反映したい場合はテンプレート内のコメントに従って修正してください。

gakuninScopedPersonalUniqueCode の設定例で誤って Simple Attribute Definition を使っていたところを [Prescoped Attribute Definition](#) に修正しました。

ダウンロード: [attribute-resolver-template-2.0.1.xml](#)

学認技術運用基準(v2.0)に新たに追加された属性 gakuninScopedPersonalUniqueCode, isMemberOf の設定例を追加しました。

ダウンロード: [attribute-resolver-template-2.0.0.xml](#), [attribute-filter-template-prodfed-2.0.0.xml](#), [attribute-filter-template-testfed-2.0.0.xml](#)

各属性に割り当てるid(attributeID)をシステム運用基準に合わせる形で以下のように修正しました。今後SP接続情報等で掲載する情報はこちらを元にしたものになります。また、更新する場合は[attribute-resolver.xml/attribute-filter.xml](#)両方を同時に行わないと不整合が生じます。みなさまにおかれましてはIdPの属性設定ファイルの最新版 (バージョン1.2.x) への更新をご検討ください。

- email → mail
- organizationalUnit → organizationalUnitName
- jaorganizationName → jaOrganizationName
- jaorganizationalUnit → jaOrganizationalUnitName
- jadisplayName → jaDisplayName
- jagivenName → jaGivenName
- jasurname → jaSurname

※ jaSurnameおよびsurnameは現行の学認技術運用基準(v2.0)での表記と異なりますが、技術運用基準を修正予定です。→v2.1で修正されました。(2015-03-12)

ダウンロード: [attribute-resolver-template-1.2.0.xml](#), [attribute-filter-template-prodfed-1.2.0.xml](#), [attribute-filter-template-testfed-1.2.0.xml](#)

ダウンロード: [attribute-resolver-template-1.0.1.xml](#), [attribute-filter-template-prodfed-1.0.1.xml](#), [attribute-filter-template-testfed-1.0.1.xml](#)

- 属性設定テンプレート (SP用)

- [attribute-map.xml](#)
このファイルについて詳しくは、SPカスタマイズの属性の追加方法をご覧ください。
⇒[属性の追加方法](#)
- [attribute-policy.xml](#)
gakuninScopedPersonalUniqueCodeのScopingRulesを追加しています。その他、IdPから渡された属性をフィルタしてアプリケーションに渡す場合には適宜設定を追加してください。

更新情報2019年7月18日(3.3.0)

Shibboleth SP 3.0.x向けテンプレート - 3.0の配布物をベースとして再作成しました。
特にattribute-map-template.xmlについては、targeted-idの削除、unscoped-affiliationのコメントアウト、eppnへのcaseSensitive="false"の指定の追加などが行われております。

更新情報2018年8月23日(3.2.2)

学認技術運用基準(v2.2)に新たに追加された属性 eduPersonAssurance, eduPersonUniqueid, eduPersonOrcid を追加しました。
一部のja属性に欠けていたcaseSensitive設定を付与しました。Apacheのrequire構文等で大文字小文字が区別されなくなります。

Shibboleth SP 2.6.0の配布物をベースとして再作成しました。

学認技術運用基準(v2.0)に新たに追加された属性 gakuninScopedPersonalUniqueCode, isMemberOf を追加しました。
attribute-policy-template.xmlは gakuninScopedPersonalUniqueCode のスコープチェックのため今回新たに作成されました。

- [メタデータテンプレート](#)
 - [IdPメタデータテンプレート](#)
 - [SPメタデータテンプレート](#)

配布している属性設定テンプレートのファイル名と最新バージョンの対応は以下の通りです。Shibboleth IdP/SPのバージョンとは対応しておりませんのでご注意ください。

ファイル名	最新バージョン	ベースとなるShibboleth IdP/SPバージョン
attribute-resolver-template.xml	3.4.0	3.4.4
attribute-filter-template-prodfed.xml	3.4.0	3.4.4
attribute-filter-template-testfed.xml	3.4.0	3.4.4
attribute-map-template.xml	3.3.0	3.0.4
attribute-policy-template.xml	3.3.0	3.0.4